

夢旅秋旅 4786 : 久楽の富士山散策の楽しみ方② 134

50歳までは、企業戦士だった。多事多難、忙しさに忙殺される日々。

心の中に、気が渦巻き、心のコントロールに四苦八苦。

そんな激しい時代が、懐かしい。年齢や状況によって、感じ方や考え方も変わる。

狭い日本、そんなに急いで、どこに行くのか、そんな言葉もあった。

環境や状況が許さない人にとっては、腹立たしいが、岩の間の**小鳥**に気づいたことも嬉しい。

何でもないことが、面白いとか、楽しく感じられる、今の状況に感謝。

今は、**人様と比較しないのが大原則**。内裏では大変なこともあるが、マイペース。



何でもない光景に目が行った。そろそろ富士山の話は、この辺でお開き。
一時的に、道に迷うこともあったが、ベテランの人たちから、いろいろ教えてもらう機会も。

日頃のコミュニケーション力が、役立ってくれた次第。

初心に帰って、楽しく努力する実践。次の項目では、鎌倉、湘南からの富士山や、

馴染みの喫茶店を再訪。飾られた久楽の作品との再会も、懐かしい。

勿論、十年座住していた円覚寺も訪ね、逗子から葉山、裕次郎灯台経由して、東京方面へ。

